

# キラリ 熱中時間

深谷市にゆかりがあり、市内外で活躍する個人や団体を紹介します。

深谷ゆかりの『渋沢平九郎』をオペラで広める



渋沢平九郎プロジェクト  
オペラ歌手 藤牧正充さん  
オペラ歌手 揖斐恵美さん

歴史と音楽の融合！  
渋沢平九郎をオペラに

深谷の偉人『渋沢栄一』の養子である『渋沢平九郎』の生涯を題材とした『歌劇 幕臣・渋沢平九郎』を、生誕の地深谷で上演するために活動している『渋沢平九郎プロジェクト』。このプロジェクトで主人公の渋沢平九郎とヒロインのゆうを演じるのが、市内在住のオペラ歌手、藤牧正充さんと揖斐恵美さんです。

このオペラの魅力を揖斐さんに伺うと「史実をベースにしたオリジナルオペラなので、登場人物の設定には創造の部分もあります。オペラは敷居が高いイメージがありますが、地元ゆかりのある人物を題材にしたオリジナルのストーリーを、日本語のオペラで表現することで地域の皆さんにより親しんでもらいたいですね。」と笑顔で教えてくれました。

また、平九郎を演じるにあたっての思いを藤牧さんに聞くと「役作りで平九郎の性格を掘り下げていくと、実直でまっすぐな人だったのだと感じました。自分の信念を最後まで貫く平九郎の人間性を表現したいですね。地元の人物を演じられることに縁を感じますし、今回は深谷の子どもたちも合唱で参加予定なので、歌を通じて深谷全体を巻きこめたらいいですね。」と熱く語ってくれました。

渋沢平九郎の命日である5月23日に生誕の地深谷で開催されるオリジナルオペラ。深谷ゆかりの渋沢平九郎を基にした歴史と音楽の融合に注目です。



▲オペラ歌手として舞台出演時の揖斐さん(写真左)

▲古賀政男音楽博物館けやきホールで歌唱する藤牧さん



『歌劇 幕臣・渋沢平九郎』藤牧さん、揖斐さん出演 ※詳しくは10ページ情報ひろばで確認ください。  
問い合わせ 渋沢平九郎プロジェクト実行委員会 齊藤さん ☎04-2921-1151  
とぎ 5月23日(土) 午後2時(開場) 午後1時 ところ 深谷市民文化会館大ホール

# L・フォルテ

## 男女共同参画情報コーナー

ともに認め合い 支え合う 元気と笑顔で参画するまち ふかや  
男女共同参画推進センターの愛称です。このコーナーでは、男女共同参画に関する情報を皆さんに紹介します。

男女共同参画推進センター  
人権政策課 ☎574-6643

## 事業所に『男女共同参画推進員』を設置しませんか？

深谷市では、市内事業所における男女共同参画を推進するため、各事業所に『男女共同参画推進員』の設置をお願いしており、現在では99事業所(令和2年1月1日時点)が推進員を設置しています。推進員には、市や県が行っている『女性活躍やワーク・ライフ・バランスに関するセミナー』のお知らせなど男女共同参画に関する情報が提供され、これを基に事業所内における啓発活動をしています。

## 『深谷市女性活躍等推進事業所認証制度』を推進しています

女性の活躍や男女共同参画の推進に積極的に取り組んでいる事業所を『深谷市女性活躍等推進事業所』として認証する制度を設けています。認証事業所になると、広告や名刺などに、認証事業所であることや、認証事業所のシンボルマークを表示でき、事業所のイメージアップにつながり、安定した雇用継続や優秀な人材の確保などの効果が期待できます。

市では、これらの事業所を広報やホームページで周知するなど支援を行っていますので、興味がある事業所は、ぜひ人権政策課までお問い合わせください。



▲深谷市女性活躍等推進事業所シンボルマーク

ふっかちゃんの日常から  
深谷が見えてくる

# ふっか 散歩

81 深谷大里看護専門学校



◀図書室にきたよ。ここには、専門的な医療の本を中心にいろいろな本がおよそ1万冊もあるんだって！勉強用に医療系のDVDやビデオもたくさん揃っていたよ。すごいねえ〜♪



▲ここは『基礎看護実習室』といって、学生が実習をするお部屋だよ〜♪本物の病院みたいにベッドがたくさん並んでいるところでお勉強しているんだね〜。

ふっかちゃんのつぶやき  
お別れの多い季節だけど、新たな道へ進むみんなのことを応援しているよお♪卒業おめでとう〜♪(oωo)Y



今日は、深谷大里看護専門学校にやってきたよ。この学校は、全日制(3年課程)と通信制(2年課程)があって、市内外から看護師を目指す学生がたくさん学んでいるんだって！早速、校内を見てみよう〜と。



# 心の広場

川本北小学校4年  
石川 優萌さん



当たり前のことをする心

学校の先生はよく「当たり前の行動をしましょう。」と、言います。当たり前のこととは、どんなことでしょうか。

私は、「友達となかよくすること」「ひとに優しくすること」「困っている人がいたら声をかけること」「進んで行動すること」などを考えました。しかし、私はそれらの当たり前のことができていたのだろうか、自分を振り返ってみました。

前に、友達がからかわれていやな思いをしているのを見たことがありました。その時私は、「かわいそうだな。こまっているだろうな。」と思いましたが、そのままその場を通りすぎてしまいました。後から、「声をかければよかったな。どうして言えなかったのだろう。」という気持ちでいっぱいになり、心がモ

ヤモヤしました。そして、もし今度いやな思いをしている人がいたら、声をかけよう心に決めました。

ある日、またこまっている友達を見かけました。私は、ゆう気をふりしぼって、「だいじょうぶ。」と、声をかけました。すると、その子は、「ありがとう。」と、言ってくれました。その言葉を聞いて、私は、「声をかけてよかったな。」と思いました。見ぬふりをしてしまった時のモヤモヤした気持ちはなく、とてもすっきりしたいい気持ちになりました。

学校は、たくさんの友達や先生とすごしていますが、一人一人が当たり前の行動を考えて助け合えたら、いやな思いや悲しい思いをする人が少なくなると思います。正しいことをするのは、ゆう気が必要な時もあるけれど、私はみんなが楽しくすごせるクラスがいいなと思うので、自分ができる当たり前のことを進んでしていきたいと思っています。

